



坂本 敏博さん
Sakamoto Toshihiro

〔上田口区〕

さかもと としひろ / アマチュア天文家。甲佐町青少年健全育成町民会議が開催する「星の観察会」で講師を務める。同イベントに関するお尋ねは町社会教育課（☎096-234-2447）まで。

心が弾む体験で子どもたちに本物の学びを届ける

「夜空に輝く星々を望遠鏡を使って観察する」。そんな学校の授業では実現が難しい体験学習の場を子どもたちに提供できればと考えています」と話すのは、甲佐町青少年健全育成町民会議（奥名克

美会長）が毎年開催する「星の観察会」で講師を務める坂本敏博さん（上田口区）。もともと地域の子どもたちなどを対象に自身の天体望遠鏡を使った星空観察会を不定期に開催していた坂本さんがこの

取り組みに参加したのは平成30年から。その活動を知った当時の担当者から講師の依頼が舞い込んだという。

子ども頃から毎日夜空を見上げていた坂本さんが初めて望遠鏡を手にしたのは小学5年生のとき。「お小遣いを少しずつ貯めてやっと購入した望遠鏡を一晩中のぞいていました。夜空の点でしかない小さな光を望遠鏡で見ると、

輪を持つ土星や衛星を従えた木星がはっきりとわかります。これらを初めて目にしたときの感動は忘れられませんね」と笑顔を見せる。

文部科学省が掲げる、子どもたちへの1人1台タブレット端末整備に象徴されるGIGAスクール構想。本年度から本町でも始まった教育への本格的なICT導入によって、子どもたちは今まで以上に簡単に知識を得ることができるようになった。学びの可能性が広がった一方で、「驚き」や「感動」を伴う体験を通してこれまで体験学習の価値も高まっている。

「かつて私が体験したような感動を今の子どもたちにも感じてほしいです。コロナ禍で対面による体験学習が難しい今だからこそ、子どもたちの興味関心を表面的な知識の習得ではなく、心に残る体験に基づいた本物の学びにつなげるためにこの活動を続けていきたいですね」と話す坂本さんは広大な宇宙の神秘と新しい時代を支える子どもたちの未来に思いを馳せる。

広報 こうさ

2022年（令和4年）2月号
通巻631号